レジメン登録申請書

診療科	消化器内科	申請医師		提出日	年　月　日
レジメン名称	GEM＋CDDP＋イミフィンジ				
対象疾患・ステージ等	治癒切除不能な胆道癌				
適応の有無	☑ 保険適応あり　☐ 保険適応なし				
入院実施による算定方法	☐ DPC包括対象　☑ DPC包括対象外（出来高算定）　（薬剤師が診療情報士に確認する）				
本治療の位置づけ	切除不能な胆道癌に対する一次治療の一つとして位置づけられている。GEM＋CDDPと比較し優越性が示されている。				
使用予定日	年　月　日				

	投与順	薬剤	投与量	時間	投与方法	投与スケジュール											
						1日目	2日目	・・・	8日目	日目	日目	日目	日目	日目	日目	週目	週目
治療内容	Rp1	ソリタT1	500mL	100分	div	●			●								
	Rp2	デキサメタゾン	6.6mg	30分	div	●			●								
		パロノセトロンパック	50ml														
	Rp3	生食	50ml	15分	div	●											
	Rp4	デュルバルマブ	1500mg	60分	div	●											
		生食	100ml														
	Rp5	生食	50ml	15分	div	●											
	Rp6	シスプラチン	25mg/㎡	60分	div	●			●								
		生食	250ml														
	Rp7	ゲムシタビン	1000mg/㎡	30分	div	●			●								
		生食	100ml														
	Rp8	ソルデム3A	500ml	100分	div	●			●								
	Rp9	ソルデム3A	500ml	100分	div	●			●								
総投与時間	8時間30分																
血管外漏出時のリスク	CDDP、GEMとも炎症性抗がん剤であり、漏出後は発赤・紅斑・水疱・腫脹・血管痛を生じることがあるが潰瘍形成までは進展しない。 イミフィンジは非炎症性抗癌剤のため、経過観察でよい。																
（備考）調製時・投与時の注意点など	調製時の注意 GEM: 200mgバイアルは5mL以上、1gバイアルは25mL以上の生理食塩液に溶解して用いること。(投与時間:30分) 溶液を冷蔵庫に保存すると結晶が析出することがあるので、保存する場合でも室温(15～30℃)で保存し、24時間以内に使用すること。 CDDP: 点滴静注する際、クロールイオン濃度が低い輸液を用いる場合には、活性が低下するので必ず生理食塩液に混和すること。点滴静注する際、アミノ酸輸液、乳酸ナトリウムを含有する輸液を用いると分解が起こるので避けること。アルミニウムと反応して沈殿物を形成し、活性が低下するので、使用にあたってアルミニウムを含む医療用器具を用いないこと。 投与前の注意 CDDP: 投与時には腎毒性を軽減する為に次の処置を行うこと。なお、点滴時間が長時間に及ぶ場合には遮光して投与すること。投与終了後、1,000～2,000mLの適当な輸液を4時間以上																

1サイクル期間	3週間
総コース数	GC＋イミフィンジを8サイクル施行後、イミフィンジ単独投与を4週間間隔でPDまたは許容できない毒性が認められるまで投与継続。